

石原理事長のご逝去と悼む

財団法人土地総合研究所専務理事
森 悠

私どもが敬愛してやまない石原舜介理事長が、4月16日、お亡くなりになりました。

ちょうど当日は、国際土地政策フォーラムを開催しており、土地総合研究所の所員のほとんどは、会場の砂防会館に出かけていました。そこに理事長急逝の緊急電話が入りましたが、突然のことにとっても信じられず、言葉もありませんでした。

石原理事長は、当研究所の創設自体に参画、ご尽力されるとともに、発足後は初代理事長として、この4年間、当研究所が専門に進めてゆくべき調査研究分野について、方向付けをしていただきました。石原理事長は、ご専門の都市計画、社会工学はもちろんですが、土地問題、不動産、国土計画等についても大変にご造詣が深く、多岐にわたる学識、経験に基づいて指針を示していただいたことによって、当研究所の基盤が確立できたと言っても過言ではありません。

月2回の所内会議においては、調査研究事業の進捗状況等について各所員からご報告申し上げましたが、常に的確なご指導をいただくとともに、時事問題やご自身が関係されている研究会等の動向についてもお話をされ、多大のご薫陶をいただきました。

また、ご多忙の身でありながら、所内のゴルフ大会や歓送迎会等にもご参加いただき、お陰をもって、混成の所員構成にもかかわらず、自由で和やかな、まとまりのある所内の雰囲気は形づくられたと思います。

石原理事長は、私ども土地総合研究所職員にとって、本当にかげがえのない存在で、そのご逝去による空白はあまりにも大きいものがありますが、ご遺志を受け継ぎ、研究所の使命を果たしてゆくことが、残された私どもの責務であると考えます。ここに、役職員一同一丸となって研究所の発展のために全力を尽くすことをお誓い申し上げます。

石原理事長のご恩に心から感謝申し上げるとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。